

Press Release

2011 年 1 月 17 日

奈良事業所の景観改善と省エネルギーのための設備投資について

この度、当社は奈良事業所 奈良第1工場(奈良県大和郡山市井戸野町)において、以下の景観改善と省エネルギーのための設備投資を行うことを決定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 事務所棟屋上の社名看板の取替え(2010 年 12 月実施済)

従来の白地に赤のロゴマークからデザインを一新し、茶色の背景にステンレスのロゴマークが引き立つように変更しました。茶色にすることで、屋上看板と周囲の奈良の山々の緑とが、美しく調和するようになりました。

また、ネオン照明から LED 照明に変更したことにより、夜間はロゴが赤く輝きます。LED 照明は、消費電力が従来のネオン照明の 5 分の 1 で、地球環境に優しく年間約 26,000kWh の電力の削減と年間約 11 トンの二酸化炭素の削減になります。さらに、長寿命のため取替えコストも大幅に低減できます。

・従来の社名看板



・新しい社名看板



2. 事務所西側の社員駐車場隣接地への太陽光発電装置と福利厚生施設の設置(2011 年 3 月完成予定)

①太陽光発電装置および蓄電施設の設置について

クリーンで地球環境に優しい太陽光発電システムを伊賀事業所に続き奈良事業所にも設置いたします。当社の業務・資本提携先であるギルデマイスター社(ドイツ)の子会社である a+f社(ドイツ)製の太陽位置追尾装置に、三菱電機製の太陽光パネルを組合せた出力 30kW の太陽光発電装置を 1 基設置します。さらに、今回は a+f 社の子会社である Cellstrom(セルストローム)社(オーストリア)製の電力貯蔵用レドックス・フロー電池を併設します。発電した電気は福利厚生施設および隣接する社員駐車場の夜間照明に利用します。

今回、奈良事業所にも太陽光発電装置を設置することにより、森精機全体では年間約 96,000kWh の発電量で、年間約 41 トンの二酸化炭素を削減します。

●太陽光発電装置概要

発電容量	: 30kW × 1 基(約 32,000kWh/年)
設備	: 太陽光パネル(三菱電機製)、太陽位置追尾装置(a+f 社製 SunCarrier260)
二酸化炭素削減量	: 約 13.6 トン/年

●レドックス・フロー電池(Cellstrom 社製 cellcube FB10/100)

原理 : 二次電池の一種で、イオンの酸化還元反応を溶液のポンプ循環によって進行させて、充電と放電を行う

用途 : 太陽光発電装置と組み合わせて昼間の発電電力を電池に蓄えて夜間の照明に利用することにより夜間に発電できないという太陽光発電装置の欠点を補う

仕様 : 電池容量 100kWh、出力電圧 単相 200V

寸法 : 4500mm×2200mm×2400mm(高さ) 重量: 10トン

②社員の福利厚生施設としてテニス・フットサル兼用コートを2面設置

これらの景観改善、省エネルギー活動への取組みに掛かる費用は約1億3,000万円になります。今後も、当社は積極的に景観改善や省エネルギーへの取組みを進めます。

・太陽光発電装置と福利厚施設の設置(完成予想図)



・レドックス・フロー電池 cellcube FB 10/100



以上